

2025年大阪・関西万博における スマート農業技術展示について

2024年7月

農林水産省研究推進課 先端技術実装班

※本資料の内容は、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会や政府としての公式の見解を示すものではありません。また、内容は現時点でのものであり、変更する可能性があります。

1. 2025年大阪・関西万博(概要)

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

をテーマにして

2025年 4月13日～10月13日

に大阪府 夢洲にて開催。

約2,820万人
(15.3万人/日)

の来場者数を想定。

(アクションプラン初版より)



2. テーマウィーク

- 世界中の国々が半年間の長きにわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み
- 約1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、主催者に加え、公式参加国、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業等の万博参加者、及び全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを実施
- スマート農業については、「食と暮らしの未来ウィーク」にて他の農林水産業に関する分野とともに出展予定

[テーマウィーク | 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 \(expo2025.or.jp\)](https://expo2025.or.jp)

日程	ウィーク名	テーマ
4/25～5/6	未来への文化共創ウィーク	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？
5/15～5/26	未来のコミュニティとモビリティウィーク	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？
6/5～6/16	食と暮らしの未来ウィーク	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？
6/20～7/1	健康とウェルビーイングウィーク	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？
7/17～7/28	学びと遊びウィーク	AI時代において人は何を学べば良いのか？
8/1～8/12	平和と人権ウィーク	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？
9/17～9/28	地球の未来と生物多様性ウィーク	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？
10/2～10/12	SDGs+Beyondいのち輝く未来社会ウィーク	SDGsは達成できるか？ そして、その先はどうする？

暫定スケジュール

- ①設営 5日、6日
- ②営業 7日～15日
- ③撤去 16日

3. テーマウィークでの農林水産省展示(案)

EXPO メッセ (旧名称:メッセ)



想定される催事演目

- 様々な展示会やフォーラム等
- テーマウィークの主会場

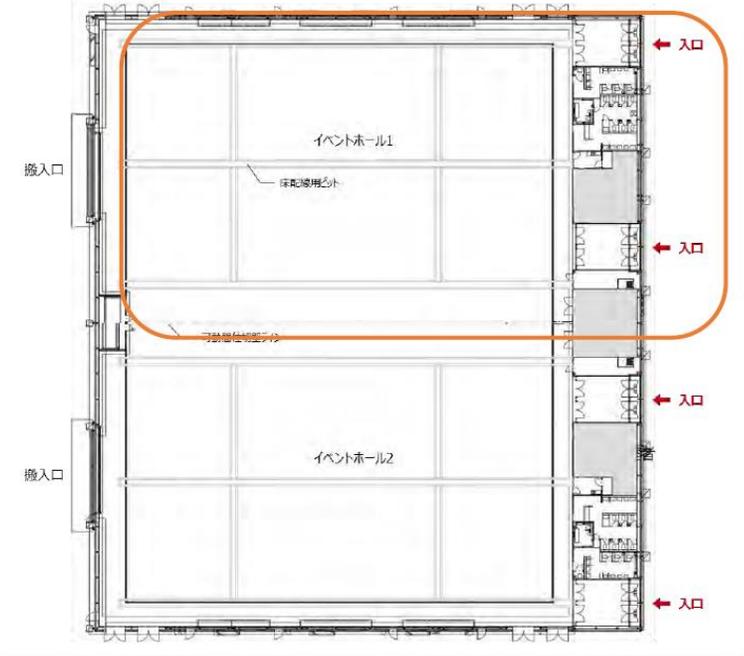
施設利用単位

1日単位/9時~21時

※利用時間には搬入から搬出、退去までの時間を含みます。
催事内容に応じた利用時間をご相談ください。



平面図



建築概要	鉄骨造屋内展示場
展示面積	4,000㎡(2分割使用/各2,000㎡) ※床耐荷重2t/㎡(アスファルト)
展示場サイズ	間口約72m/奥行約56m/高さ約6m (中央間仕切り部分は約3.5m)
最大収容人数	3,000人(2分割使用時各1,500人)
設備概要	●放送設備 ●給排水設備 ●床下ピット ●吊下げ用フック
付帯設備	主催者事務室

4. スケジュール(案)

